

## 1 基本的な考え方

予測困難な時代と言われ、社会や環境が日々変化している。しかし、時代が変わろうとも、生徒の「分かりたい。できるようになりたい」という願いや思いが変わることはない。

志をもち、多様な人とつながり、柔軟に対応しながら、これからの社会を創造していく生徒の育成が求められており、学校は、安心・安全な環境を整えるとともに、生徒の特性を正しく理解し、個別最適・協働的な学びの一体的充実を図るとともに、特色ある教育活動を展開する中で、一人一人の可能性を最大限に広げる教育を行っていく。

たとえ将来の夢を、今は描けていなくても、「こうありたい」という願いや「やってみよう」という探究心に満ちた『笑顔と希望にあふれる学校』を目指したい。そのため、教育活動や学校生活の中で、生徒が考え、ねばり強く取り組む姿や努力、成長に光を当てたメッセージを伝え、価値付けることに軸足を置き、挑戦し続ける心を涵養する。

挑戦し「ねばり強くやり抜く力」は地域や社会の貢献へと働き、自分自身や周りにいる人の幸せや生きがいへ結びつくものであると考える。また、学びは学校教育で完結するものではなく、生涯続いていく。家庭・地域との連携・協働体制を構築して、人とのつながりを大切に『地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校』づくりを推進していく。

## 2 教育目標 めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう

### 3 目指す学校像 合言葉は『笑顔と希望にあふれる荒川中』

- (1) 「学ぶ、つながる、挑戦する」楽しさや喜び、心や体の成長が実感できる学校
- (2) 保護者や地域から信頼、応援され、地域とともに歩む学校
- (3) 教師が情熱と使命感をもち、やりがいを感じて教育活動を進める学校
- (4) 教育環境が整い、安全・安心に生活できる学校

### 4 目指す生徒像

- (1) 学習のねらいが分かり、課題にねばり強く取り組み、ねらいに対する振り返りができる生徒
- (2) 「あいさつ、返事、がまん、時間、後始末」ができる生徒
- (3) 他を思いやり、いじめを許さない、見逃さない生徒
- (4) 健康で安全に生活し、体力の向上に努める生徒
- (5) ふるさと荒川を理解し、地域の課題を発見してともに追究する生徒

### 5 目指す教職員像

- (1) 心身ともに健康で、明るく生徒と接する教職員
- (2) 細やかに見とり、子供の心に寄り添い、生徒理解に努める教職員
- (3) 共に活動して、よさを見付けてほめる、きちんと叱ることができる教職員

- (4) 「最大の環境は教職員」である。率先垂範、師弟同行に努める教職員
- (5) 互いに支え合い、成長し、高め合っていく関係（同僚性）を大切にする教職員

## 6 努力事項（◎：重点 □：部会設定の手立て）

### (1) 知

- ◎ア 学習課題、対話、まとめ、振り返りがある授業を行う。
- イ 思考、解決、表現の過程で「深い学びの技法」を取り入れた授業を、単元の中に位置づけて行う。
- ウ 終学活にプランニングタイムを設定し、みとりと学習相談等で習慣化を図る。
- エ 「分かる、できる」が実感できる問いや学習課題がある授業を行う。

### (2) 徳

- ア 生徒の絆づくりの場面（主体的・共同的な活動を通して、生徒自らが「絆」を感じ取り、心を通わせる場面）を設定する。
- ◎イ 学級活動・生徒会活動・学校行事で、互いの努力や成長を賞賛し合う場面を設定する。
- ウ いじめに関する道德教育（道德科、いじめ見逃しゼロの取組等）は、「考え、議論する」積極的な取組を行う。
- エ 心の居場所（生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所）づくりに努める。

### (3) 体

- ア 体育の授業や体育的行事において、体力向上に関する知識を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- イ 体育の授業で、サーキットトレーニング等を取り入れて体力作りを行う。
- ◎ウ セルフモニタリングシートを活用し、生活習慣の改善に取り組む。

### (4) 特別支援教育

- ア 生徒理解に基づく、足並みをそろえた適切な支援を行う。
- ◎イ 学びのユニバーサルデザイン（UDL）の理解を一層深め、取組を徹底する。
- ウ 保護者・関係機関との連携を積極的に行う。

## 7 地域との連携

- (1) 地域の関係機関と連携を図ったり教育資源を活用したりして、地域に根ざした教育を推進する。
- (2) 地域スポーツクラブと連携し、部活動の地域移行を計画的に進める。
- (3) 小中や中高の円滑な接続を図る小・中・高の教科、領域の指導や生徒指導のあり方等について、意見交換や引き継ぎを丁寧に行う。
- (4) 学校運営協議会等で、持続可能な学校経営・地域連携について熟議を行う。
- (5) 地域とともに歩む学校づくりを図る外部評価等の内容や方法を工夫する。